



安倍内閣、安保関連法案 強行「採決」する！

その日は9月19日未明です。憲法9条を破壊し、国民の声を無視し、戦争をする国に仕立て上げようとするものです。かつてない、全国に広がった市民の自主的な反対運動。この運動を大切に、この法を廃止に追い込みましょう。

国会で審議中の7月から9月、兵庫県では6月に続き8月の(弁護士会主催)集会も大きく盛り上がり、鑑賞会からたくさんの方が参加しました。全国的にはSEALDsの若者たち、ママの会、また佐々木愛さんたち演劇人・舞台表現者の会、等多くの国民・市民が声を上げました。戦後70年、初めての市民運動に未来・展望があります。“9月19日”を忘れずに、戦後の平和・民主主義を大切に運動をヨコへ、ヨコへ拡げていきましょう。

SEALDs 賛歌 ～人生初の追っかけ、その魅力～

SEALDs KANSAI の「安保法案反対」の訴えを大阪で実際に聞いて感銘を受け、その後の彼らの集会にはできるだけ参加するようにしています。人生初の「追っかけ」です。

その魅力はなにか？「戦争法案の内容を自分の中で消化して、自分の言葉で語ることが大事だと思っています(京都の女子大生 20才)」「私は事実と論理に基づいて(対話を拒否している)彼らに言葉を放ち続けることを諦めません。私たち一人ひとりの中にある言葉を紡ぐことが、この狂気とも言える政治に対する最も有効で、強力な手段となります(神大・塩田潤さん)」・・・これに尽きます。

この思いと行動は日本社会に大きな影響を与えています。特攻隊を目指した元予科練の加藤敦美さん(86)は「オーイ、特攻で死んでいった先輩・同胞たち。“いまこそ俺たちは生き返ったぞ”とむせび泣きしながら叫んだ。・・・若かった我々が、生まれ変わってデモ隊となって立ち並んでいるように感じた。学生さんたちに心から感謝する。今のあなた方のようにこそ、我々は生きていたかったのだ」(朝日新聞7月18日声欄)。憲法学者の泰斗、樋口陽一東大名誉教授(80)は「象牙の塔」主義を自認し、政治的な発言をしないことで有名でしたが、SEALDsと出会い「この国の今と未来にもう一度自信を持ちました」と積極的に街頭に出て発言するようになりました。いま続々と全国の大学で「学者の会」が出来て、史上初と云われる学生との共闘が進んでいます。これも大学人の中に、樋口さんと同じような思いが共有されているからでしょう。

権力は戦争法案反対運動の中でこの学生たちに一番の脅威を感じています。なんとかその影響力を削ぎたいと、批判・誹謗中傷・脅し・懐柔・転向の働きかけを強めることでしょう。長い人生の中で同じような目に遭いながら、それでもしたたかに生きてきた父母・祖父祖母の世代である私たちが、いまこそ若い世代と連帯し、一緒になって運動を盛り上げていきたいと願って、追っかけています。(ハーモニー2 サークル 山本 巖)

八月二九日



戦争をしない、未来をつくる 9・5 二市二町 総がかり行動に参加して

9月5日、ギター伴奏の平和を願う歌に誘われ夕暮れの加古川駅前に、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の人達が集う。500人の「翼をください」大合唱はハーモニーが美しく一体感を味わう。

95歳の元従軍看護婦の戦争体験は、壮絶悲惨で会衆は涙を拭う。「9条2項」の巨大な幟は高校生の憲法談議となり心強い。「戦争はイヤだ！」のゼッケンを掛けた祖母と孫に、いま戦争体験を伝える重要性を思いつつ、700人のラップ調のコールで行進した。

(睦サークル Egusa)



その会場には、様々な旗が林立。そして私の回りには、お手製のプラカードや、チラシや署名用紙を持った人、人、人。

高齢者(私もその一人)、車椅子の人、茶髪の若者、ベビーカーを押す若い夫婦。そしてなんと「革マル」のチラシを手にした中年のおじさんも！皆、黙っていられなくて、何か自分の心を伝え合いたくてこの集会に参加しているんですね。自然に心が高まって来ます。「民主主義って何だ！」「これだ！」。えっ？これがシュプレヒコール？！現憲法が生まれて68年。この時間の中で私達の心の中に、その理念が根付いて来ているのを感じる。この感覚を守りたい。この感覚を子や孫達の中にも育て続けたい。そのためにこの日、私もパレードの一員に加わった。隣で歩くおじさんの手のチラシには「戦争法案に賛成した議員は次の選挙で落とせ！」。まったく！

(神無月サークル M・H)

～ お芝居と平和 ⑬ ～

『父と暮せば』1997年と2015年

こまつ座の『父と暮せば』を初めて観たのは18年前、涙でぐちゃぐちゃになってしばらく席を立てないほどであった。

広島への原爆投下という重いテーマを扱いながらメッセージを声高に言うのではない。自分だけが生き残ったことに強い罪悪感を覚える娘と、娘の「恋の応援団長」を自認する父、笑わせながら二人の対話から原爆投下の不条理を浮び上らせる。人々の日常を一瞬に奪ってしまったものへの怒りに震え、そのとき初めて芝居の持つ力というものを実感した。

今回の例会では、父・竹造から娘・美津江への「わしの分まで生きてちょうだいよオー」との“生きる”という、生きて孫やひ孫に伝えて欲しいという思いが痛いほど迫ってきた。その時「私は、もしかしたら竹造の孫の世代なのかな」とふと感じ、我が両親のことに思いをはせた。父はもうあの世に行ってしまったが、記憶が朧になりつつある母に、今のうちに戦争体験も含めて「人間のかなしいかったこと、たのしいかったこと」をもっと聞いておかなければと思う。そして、我が子にも、やがて生まれてくる孫にも、それを伝えていく役割が私にはあるのだ。再び愚かな戦争を始めたたりさせないためにも。

(ハーモニ A-H)

あすわかひょうご 署名へのご協力、ありがとうございました！！

「明日の自由を守る若手弁護士の会」兵庫支部（通称：あすわかひょうご）が8月21日から呼びかけを開始した、「兵庫県選出の与党議員に兵庫県民の反対署名（声）を届け、造反を促す運動」についてご報告いたします。

連日、ものすごい数の署名が届き、おかげさまで、参議院議員宛て署名は、9月8日までで3782筆、衆議院議員宛て署名は、9月15日までで4293筆集まりました。

あすわかひょうごのメンバーが、9月9日に参議院議員会館へ、9月15日に衆議院議員会館へ行き、兵庫県選出の与党議員でキーとなりそうな方（鴻池氏、赤羽氏等）に対して署名を渡してまいりました。

ご協力いただき、本当にありがとうございました！！（坂本）

※ テアトルメンバーを中心に、9月例会配布中に、鑑賞会会員さんや、8月の集会でお願いし、例会場に160筆の署名が集まりました。



文化座 佐々木愛さん 講演会 お知らせ
戦後70年 劇団の今、未来を語る

日時：11月8日（日）14時30分～ 参加費：1,000円

会場：神戸芸術センター 504号室

※地下鉄 新神戸駅、市バス 布引 下車

参加券は、10月例会場、事務局で取り扱っています。



例会場「テアトル9コーナー」にお立ち寄りください！

テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！



お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何？？

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。

興味のある方は、一緒にしませんか？

下記世話人までご連絡を

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378